

2016年3月 第61号

ひとひと  
女と男

きらめき

発行 沖縄市役所 市民部 平和・男女共同課  
沖縄市男女共同参画センター〒904-0003 沖縄市住吉1丁目14番29号(3階)  
TEL (098) 937-0170 FAX (098) 937-0175

Kirameki

OKINAWA

## 佐々木常夫講演会

沖縄市男女共同参画推進事業  
(第15回きらめきフェスタ)私は仕事も家族もあきらめない  
を開催しました!!佐々木 常夫  
佐々木常夫さん

講演会の紹介をします!

今回のきらめきフェスタは、1月22日(金) 沖縄市民小劇場あしひなーにおきまして、元東レ経営研究所社長で現在は(株)佐々木常夫マネジメント・リサーチ代表取締役の佐々木常夫氏をお招きし、病気の妻と障がいのある長男を守るため毎日定時に退社しながら一流企業のトップにのぼりつめた、佐々木氏のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についてお話ししていただきました。

## 講師 プロフィール

秋田市生まれ。東京大学経済学部卒業後、東レ株式会社に入社。家庭では自閉症の長男と肝臓病とうつ病を患う妻を抱えながら会社の仕事でも大きな成果を出し、01年、東レの取締役、03年に東レ経営研究所社長に就任。内閣府の男女共同参画会議議員、大阪客員教授などの公職も歴任「ワーク・ライフ・バランス」のシンボリック的存在である。著書には『ビックツリー』『そうか、君は課長になったのか』『働く君に贈る25の言葉』などがあり、2011年にはビジネス書最優秀著者賞を受賞。

## 自閉症の長男

私は、自閉症の長男を含め3人のこどもがおります。1969年(昭和44年)に東レ株式会社に入社し1972年に長男俊介を授かった。俊介は1歳になってもなかなか立ち歩きができない。1歳半になってやっと歩けるようになったが、言葉の発達が遅れていて語彙が極端に少ない。診断は「自閉症的傾向」。しかし当時はまだ自閉症なる概念が日本では確立していなかったようで、説明を受けてもよく分からない。そんな中、1973年に次男啓介、1974年に長女美穂子が生まれる。自閉症の長男俊介は小学校へ入学するも集団生活はできず、トラブル続き、私はしばしば学校へ呼び出されたこともあった。

## 病気の妻そして家族と仕事の両立

私が繊維企画管理部の統括課長に就任した1984年、妻が急性肝炎と診断された。その後入退院を何度も繰り返して、中学校と小学校の子供たちを抱え家族と仕事の両立をせざるを得なくなった。「仕事の進め方10カ条」を部下に示し、計画性、優先順位、整理整頓主義、効率主義、結果主義などを現場に徹底し無駄な仕事をなくし、時間厳守、会議の合理化を図った。朝5時半に起きて朝食と弁当を作り、こどもを学校に送りだしたあと、8時に出社。始業までの1時間の間に書類整理、部下への指示など1日の準備を行う。夕方6時には退社して、素早く夕食を作り、夜9時までに翌朝の食事や弁当の準備を整え、寝るまで会社の仕事をする。土日は妻の見舞いにいき洗濯や掃除一週間分の献立づくりと買い物に追われる日々だったが、長女的美穂子が私をサポートしてくれた。責任感の強い妻は、家族に負担をかけていることを気に病み

うつ病を併発する。その状況の中、大阪と東京の転勤を6回繰り返した。当時経営企画室長を務め責任はますます重くなったが、8時入社、18時退社を続けた。そうしなければ家族を守ることができなかった。2001年に同期トップで東レの取締役に就任。取締役になってからは経営企画室長兼繊維本部を担当することになった。それは激務の始まりでもあった。毎日が緊急の連続で夜も遅くなるし、土日出社の時もあった。仕事に追われる毎日だったが、同時に家事もこなした。なんとか苦しい日々を乗り切っていた。ところが、その忙しさに比例するかのよう、妻の浩子の病状は悪化していった。3回目の自殺未遂をおこした時は、さすがの私も「これで俺の人生も半分終わった」という絶望感の中にいた。しかし、それでも「運命を引き受けよう」「いつかいい日が来る」と自らを鼓舞して、力を振り絞って家庭と仕事に立ち向かっていった。2003年、私は東レ経営研究所の社長に就任した。自分流のやり方、すなわち計画的・効率的に仕事をコントロールできる立場になったため、妻のための時間が取れるようになった。妻の訴えに応えられるようになった。このことが妻の気持ちを和らげ、長い苦しみから抜け出せるきっかけになったのではないかと思っている。少しずつだが回復を見せていき、今ではすっかり元気になった。

## 人は何のために働くのか

人は自分を磨くために働く、磨くと自分が幸せになる。自分を磨くためということは、自分の成長のために働く。もう一つあります。世のため人のため何かに貢献するため。会社・お客様・家族・社会に貢献するために働くことと、自分を成長させるために働くことじゃないかと思う。

## 仕事も家庭も徹底的にマネジメントする

私は、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の推進者です。しかし、実はこの言葉が好きではありません。「ワーク」と「ライフ」を「バランス」させるという発想では足りないからです。必要なのは、マネジメントの発想です。ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事とプライベートを適当にバランスしなさい」などということでない。自分の仕事を定時に終えて自分の生活を充実させようというものでもない。個人も企業もともに成長する経営戦略です。そして、その先にあるのは「ダイバーシティ（多様性の受容）経営」です。また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）というのは、仕事の改革があってはじめて、実現できることになる。きちんとしたタイムマネジメントが極めて重要です。ただ勘違いをしてはいけません。タイムマネジメントは、時間を管理することではありません。仕事を管理することです。

## 誰もが仕事と私生活・家庭を充実させることを求めている

それができない最大の障害の一つが長時間労働と非効率労働。仕事の成果と長時間労働とは必ずしも関係はない。

## 人を愛しなさい。それが、自分を大切にすることです。

人を大切にすることこそ、自分を大切にすることにつながる。人間とは、人に愛されることによって、はじめて自分を愛することができる。

## 運命を引き受けなさい。それが生きるということ



私の母は26歳で未亡人になって男4人兄弟を育てるために働きづめだった。しかし母は愚痴を言うことなく、どんなことでもニコニコ笑っていた。「運命を引き受けてその中でがんばろうね。がんばっても結果が出ないかもしれない。だけど、がんばらなければ何も生まれないじゃないの——。」私はこの母の言葉に支えられてここまで生きてくることができました。自分の人生を生き抜くことができた。我が家にもいろんなことがあって、神様からプレゼントをもらいました。今は大変幸せな毎日を過ごしています。

私の話はここで終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

# 女性に対する暴力をなくす運動

国において、毎年11月12日から25日までの2週間(国連が定めた「女性に対する暴力撤廃国際日」)を「女性に対する暴力をなくす運動」期間と定め啓発の充実を図ることとしています。

沖縄市では、11月7日・14日(土)に沖縄市社会福祉センターにて沖縄県警察本部職員をお招きし、実際に使える護身術と女性に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)やストーカー被害の現状と対策を学びました。

また、11月16日(月)～20日(金)までの間に、沖縄市役所1階市民ホールと沖縄市男女共同参画センター、ちばなクリニックにおきまして、パネル展を開催しました!

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、親密な関係にあるパートナーからの暴力をいいます。

## 現役警察官に学ぶ! 女性のための護身術講座



県内でもこんなに被害が出ていると思いませんでした。(40代)



護身術は、手軽に出来てとてもためになりました。(30代)



## 女性に対する暴力をなくす運動パネル展



沖縄市役所1階市民ホール



ちばなクリニック



## 沖縄市男女共同参画センター

### 図書・情報コーナー



沖縄市男女共同参画センターでは、男女共同参画に関する図書(育児、介護、自己啓発、ドメスティック・バイオレンス、ワーク・ライフ・バランスなどをテーマにした本)を扱っています。貸出をご希望の方は貸出申請書に必要事項をご記入の上、身分証明書と一緒に窓口へお申し込みください。

対象	貸出数	期間
市内在住・在勤者	1人: 5冊まで	2週間
市内の団体	1団体: 10冊まで	



3月22日(火)～25日(金)は、蔵書点検のため閲覧・貸出の図書館サービスは、休止させていただきます。ご理解ご協力をお願いいたします。



# 沖縄市女性団体連絡協議会

沖縄市の政策・方針決定の場への関心を高め、有権者としての意識向上を目的に、沖縄市議会を傍聴してきました！

沖縄市女性団体連絡協議会は、平成3年に結成され現在市内13団体が加盟し述べ1万4千人の会員がいます。平等・発展・平和の理念の下、会員の資質向上と地位向上、男女共同参画社会の実現及び沖縄市の活性化を図ることを目的に活動しています。

## ～市議会を傍聴して～

今回の議題で、特に興味を引いたのは、桑江市長の公約である「サーキット場整備」に関連して11月3日にコザ運動公園で行われた「コザモーターフェスティバル」についての質問でした。はじめての取り組みであるこのイベントは実に2万人近くが来場し、20団体の参加があっただけでなく、会場内で直接車が数台売れたという話もあり、非常に盛況だったそうです。

また、市当局の答弁は、「市として想定外の来場者数であり、広報その他の告知のあり方や期日の設定、イベントブースの配置、駐車場整理など多くの課題を残しつつも、サーキット場整備は自信をもって実現に向けたさらなるステップアップを図る」という前向きなものでした。市民・県民のサーキットに対する関心の高さを実感出来たととても良い機会となりました。

多数を集客するイベントは沖縄市の観光発展に直接結び付くものです。私たち沖縄市観光協会女性部も、イベントの盛り上げに何が協力できるのか、皆さんといろいろ考えてまいりたいと思います。

沖縄市観光協会女性部 小渡 成子



## 株式会社 御菓子御殿 読谷店 視察研修 及び 読谷村「やちむんの里」視察

会員の資質向上を図るため研修会を開催しました！11月16日(月)に株式会社御菓子御殿会長 澤岬カズ子氏の講話及び読谷村の工場見学に引き続き、読谷村やちむんの里を視察しました！

